



りんご（2022年、ヨーロッパ各地）

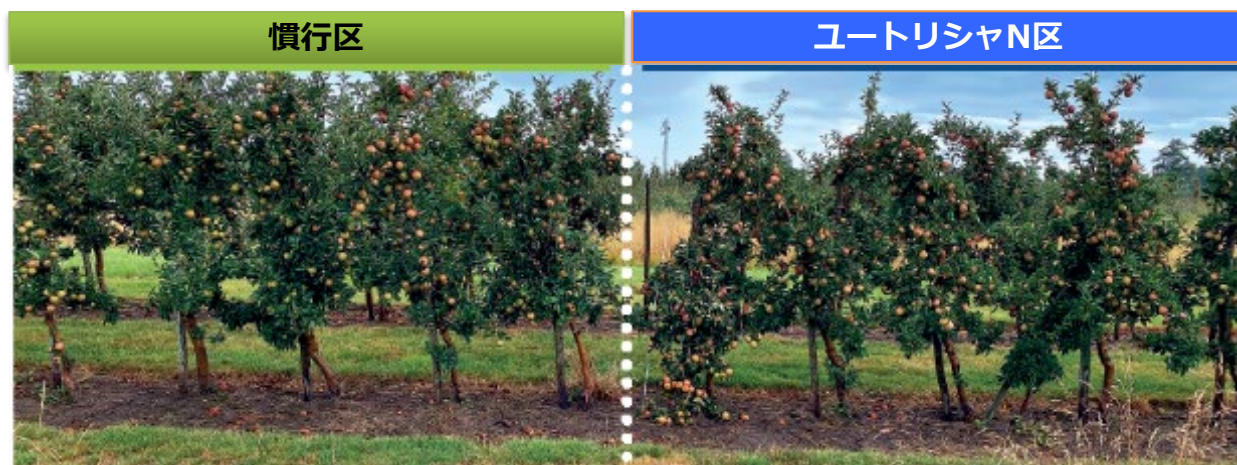
試験概要：

- ・ ユートリシャN処理による果実品質への影響を確認した。
- ・ 着果後、ユートリシャNをBBCH(生育指数)72~74のステージで処理することにより、可販収量（重量、直径、果皮色）が良かった。

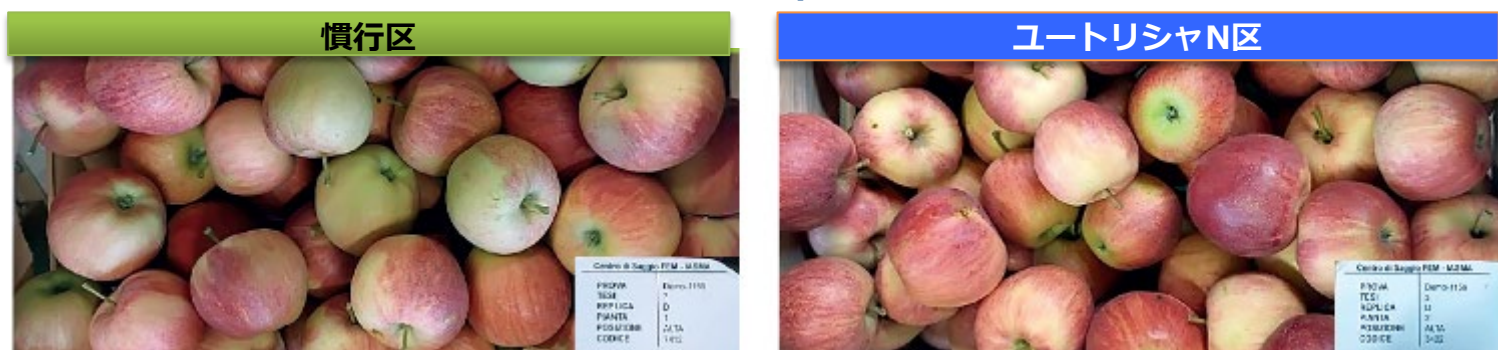
試験結果① 葉のクロロフィル含量（ポーランド各地、2022）

作物	クロロフィル含量		対無処理区比 (最少最大を足して2で割った数値を比較)
	無処理	ユートリシャN区	
りんご	0.617-0.623	0.644	103.5%
有機りんご	0.475	0.570-0.581	121.2%
なし	0.658	0.662	100.6%
おうとう	0.482-0.544	0.498-0.608	107.2%
ブルーベリー	0.691-0.753	0.720-0.756	102.2%

試験結果② 樹の状態の比較（ドイツ、2022）



試験結果③ 果実肥大、果皮色（イタリア、2022）



区	果実径					
	22/6/13	22/6/24	22/7/5	22/8/1	22/8/9	平均
ユートリシャN区	45.6ns	52.1ns	57.7ns	68.2ns	70.7ns	58.86
無処理区	45.1ns	51.8ns	57.3ns	67.6ns	70.2ns	58.4